

不妊検査・費用

ホルモン検査

視床下部・下垂体・卵巣・甲状腺機能の評価を行います。

ホルモン基礎値（LH FSH PRL）	保険	1,600円
高温期ホルモン値（E2 P4）	保険	1,600円
甲状腺ホルモン値（TSH FT4）	保険	1,330円

超音波検査

卵胞発育・子宮内膜厚の評価、排卵の確認、妊娠の診断などに用います。

自費	2,500円
保険	1,590円

精液検査

精子の量・運動率・濃度・形態を調べます。検査前は2～7日の禁欲期間が望ましいです。
院内採精も可能ですが、基本的には精液は持参して頂きます。

自費	2,750円
保険	430円

頸管粘液検査

排卵4日前から直前にかけて、頸管粘液が正常に分泌されているか量や性状を確認します。

保険	450円
----	------

ヒューナーテスト （性交後頸管粘液検査）

腔内に射精された精子が、頸管粘液内に進入し運動性を保持しているかどうか確かめる検査です。排卵の直前に夫婦生活をとって頂いた上で行います。

保険	280円
----	------

子宮卵管造影検査 （月・水・金13:30-）

造影剤を子宮口から注入し、子宮内腔の形態、卵管の疎通性、骨盤内の癒着の有無について評価を行います。

自費	18,084円
保険	4,930円

子宮鏡検査（月・水・金14:30-）

子宮頸管から細いカメラを挿入して子宮内を直接観察します。
子宮粘膜下筋腫、子宮内膜ポリープ、慢性子宮内膜炎などの診断に有用です。

自費	8,899円
保険	2,430円

クラミジア検査

クラミジア感染は不妊の原因となる代表的な性感染症です。症状がなくても進行することがあり、卵管の閉塞や機能低下・卵管留水症をきたす原因にもなります。

自費	5,141円
保険	1,380円

AMH（抗ミュラー管ホルモン）

卵巣内にある卵子の個数を反映するため、卵巣予備能の指標として有用です。生殖補助医療においては、排卵誘発方法の選択や採卵個数の指標として用いることもできます。

自費 5,554円

保険 1,800円

SIT（抗精子抗体）

精子の動きや、受精・着床を妨げる抗体の有無を調べます。

自費 6,290円

風疹抗体

風疹に対しての免疫が十分にあるか検査します。抗体価が低い（風疹に感染しやすい）方は、妊娠前にワクチン接種を推奨します。妊娠中に風疹に感染すると、胎児が先天性風疹症候群に罹患するリスクがあるためです。

自費 2,300円